

史料 「大正九年度 女学校日誌」 三

木 瀬 智 子
江 原 絢 子

なものはない。その意味でもこの史料は貴重なものであろう。

十一月一日

今日は明治神宮の御鎮座祭で式が御座いました。中学の校庭に集りました。そして黙祷をしてわれました。電車がこむので、その御注意がありました。明日、明後日は御やすみで、四年級は四日に関西へ向ひます。

四年級だけ学校に戻りまして、旅行についてお話があり病気をしないやうに凝念をいたしました。

十一月四日 木 晴

今朝四年の方は、いよく関西へおいでになったそうです。学校は何となく淋しい。凝念の時に久子先生から、特に三年生に色々御注意がございました。この二週間私等はずいぶん責任が重い。会語の時、ミセス・スパックマンもお淋しいございますとおっしゃった。お昼に食堂に行っても一箇所はよる人もなく、さぐんかが淋しげに散つていた。

一九二〇（大正九）年度、成蹊女学校の生徒によって綴られた「女学校日誌」は、今回で翻刻を終了する。生徒の日誌ということもあるが、文中に明らかな間違いも各所にみられた。しかし、当番になった生徒の多くが、自分の周辺の景色、季節の移り変わりなどに目を留め、その描写をていねいに記述している。たとえば、「咲きほこつていたコスモスも今はもうすつかり枯れて、校内の雨道も少しさびしくなりましたけれども、背の低いお茶が白い可愛らしい花を咲かせて居ります。」（十一月廿七日）など、自然の変化への観察眼がうかがえる。また、「お正月のはじめに奥田先生のお内で女の子様が御生まれになつたそうございます。お正月早々重ね々おめでたい事でございませす。」（大正十年一月十日）など、教員と生徒との暖かなつながりが感じられる部分も多い。これらからみると、女学校の学校生活はゆつたりと流れており、一つ一つの出来事に真剣に取り組んでいる様子がかがえる。

この日誌は、成蹊女学校が成蹊高等女学校となる以前の各種学校の様子を描いた史料である。各種学校は種類も多く、その実態が明らか

今日から今週一ぱいは電車のごむせいか、三時半びけとなった。かへりの早いのがうれしうございます。

始めて書いた学校日記、何とかくやらわかりませんでした。

十一月五日 金曜日 晴

今日は一日暑い日であった。凝念がすむだ頃、もう垣内先生がお見えになり三年生は徒然草の御講義を承まはった。今日の凶画は何の組もく凶案の模写であった。四年の方より後れて出発なさった中村先生が静岡で一行を追ひ越して二時間先へおつきになると云ふことが今日の御葉がきに依つて報ぜられた時、私達はすぐ急行と云ふことが分つたが、山奥の人などには一寸分らないであらう。

昨日から階段の側のかべに成蹊美術展覧会、中学校二於テ、と云ふはり紙が出て居たが、明日連れて行って下さるさうである。放課後は自彊術も唱歌もなかったので皆早く帰つた。明日は着いたおしらせの御葉がきも着くであらう。をほり。

十一月六日 土曜日 晴

秋のそらは心ゆく迄すみきつてゐる。けれどあのちぎれ雲をすつかりはらふ事は出来ないだらう。中村先生からののおたよりが着いた。静岡から。中学にある展覧会には午後の第一時間目に連れていつていた。

女学校の昼は他校にくらべて何だか小さくちぢまつてゐるやうな気がした。もつとのびたいものだ。一時間の予定が少しおくれて、帰校した時には二時間目が半分ほど過ぎてゐた。

校庭のダリヤは淋しく枯れて今は菊の全盛時代となった。(をほり)

十一月八日 月曜日 晴

久しく続いたお天気に、今日のように寒むい日は未だなかったでせう。

霜は大分降りた様である。

今朝は臨時に歴史があつた。三年生は。

研究生の方々よりおたよりが来た。伊勢より。

午後は大そう暖くなつた。暑い位。放課後自彊術があり「三つの舟」のおさらへがあつた。かへり校庭も秋ふかくなつたと見えて彼方此方に落葉が散されてゐる。早く掃除しなければならぬ。

十一月九日 火曜日 曇

今日は終日なかく寒かつた。いよく冬が近づいたのだ。おまけに日の光は一度も見えなかつた。四年生のお留守も大分なれてきた。然し久しくお目にかゝらないやうな気がする。

どの組の唱歌の時も今日は三つの舟が聞えてきた。

先生方のお留守中、臨時時間割変更により三年は家事が英語になり、二年生も家事が国語になつた。

十一月十日 水曜日 曇

朝からくもりがちなお天気の上に、大へんさむかつた。電車のまどの上まつてゐるにも冬近くなつたのがわかる。

三年は時間割変更のため、朝の三時間お裁縫であつた。おひる頃から少々日はあつてきたものの、空はやはり晴てはいなかつた。英語であつたおひるから三年、二年の長刀と見えて、えいやあーの音が手に取る様にきこえる。今日はさしこ、きかへたては少々さむかつた。今日もなにもしないで早くひけた。

十一月十一日 木曜日 曇後雨

灰色の空からは今にも雨が落ちて来さうだ。吹く風は肌にしみて寒い。今日は赤堀先生がずるぶんおそくいらつしやつたので、お料理の

すんだのは三時半頃だった。お琴の先生は御一人きりおみえにならなかつた。夕方頃からぼつくと雨がふりだし、ふりながら夜に入つた。

十一月十二日 金曜日 雨

今日は朝から雨が降ってずいぶん寒むかつた。

凝念の時は心力歌はなかつた。奥田先生から京都からのお頼が着いた。垣内先生はお休みで、国語の時間は自習となつた。

自彊術も唱歌もなく皆帰途に着いた。雨はまだふつてゐた。一つ白く咲き出でた茶山花は、雨にぬれて冬らしい感じがした。

四年の方々は雨が降って、さぞおこまりでせう。

十一月十三日 土曜日

今日中村先生からの御手紙かついた。中には俳句かたくさんしるしてあつた。その時の様子とか、その句の次に誌してあつた。電燈のかさは、となたか御こはしになつたのでせう。四年の方から三年一同に御手紙が来た。

唱歌、自彊術なしに帰途につく。

四年の方も、もうぢきかへつていらつしやる。又賑かになる。

十一月十五日 月 晴

今日はいゝお天気であつたが、風が特に冷やかで、雁も三々五々列をなして渡つて来る。

二年生は英語会のおけいこをスパックマン先生に見ていただいでいらした。一年生は畠の大根をすつかり抜いて洗つて乾したりしていらした。大根は肥料が足りなかつたのか、ほんとうに細い。終りの唱歌は三つの舟で、三部よく合ふやうになつた。

研究生から各年にお便りが来た。

帰りに日光の写真(小)をいたゞいた。

十一月十六日 火曜日 快晴

朝の中はかなり寒くて、水も手を切る様に冷たい。関西の方はいかゞか知ら？登校した順に講堂にならぶのは何時もに変わり無い。心力歌は第四章であつた。午前一、二時の両時間に亘つて二年は大根洗ひをなさつた。一年は三時間目と午後の三時間目になつた。今日は各級の唱歌時間に三つの舟をした。三時半には各級共家路につき、後はガラんとした静かなく、校舎に成つた。

夕陽は淡く校舎の西面に当つて、小鳥は私達が楽しい家をさしてかへる様に、楽しいくねぐらさしてかへる。

最早今夜四年の方は長いく旅をぶしに終えてながく見慣れた西の空に名残をとめて、久しぶりに東京にかへるところの列車の方となられるのである。早く御目にかゝれる十九日が来るとよい。筆がきれつゝきれいに書けませんでしたから一寸こゝにおわびを致します。

十一月十七日 水曜日 晴

空は気持よくはれて暑くも寒くもない。今朝四年生の方が二週間ぶりでお帰りになると思ふと何だかうれしい。学校に来ると中村先生からのおたよりがきて居た。昼前に桜井さんと二ノ宮さんが元気よくかへつていらした。午後の家事の時間に英語をして五頁すゝんだ。大根畑の大根はみな収穫されて、台の上には私達の足大根のやうに太くない細いく大根がならんで居た。をほり

十一月十八日 木 晴

寝さめの床にきゝし雨も今朝は上りたり

一時間めの習字の折木々のこす糸におくしら露

玉と見まふはかりなりき

庭もせに秋のあわれを深めつゝ

おきあましたる今朝のしら露

の和歌もおもひ出せり。

ひるつかた奥田先生のぶ子先生御機嫌よく御登校なされ、またお食事もなされたり。

二年生の割烹なれば、そのすきに私ともは明日、御笑かほにておいてあそはず。中村先生をはしめ姉ぎみがたに、山海の珍味にはなけれども心はかりの物作りたり。一二年の方も明日を楽しみに、まちやおはすらすそ。

十一月十九日 金 晴

今日は又元の通りになりました。

お昼には三年の方が四年及び研究科の帰ったお祝ひに、山海の珍味の御ちそうをして下さいました。午後一時から中学の講堂で明日の英語会の試演会を致しました。明日は見られないとうかゞって、明日の分も見て置きました。小学校の可愛らしい対話や、色々のお話し等が御座いました。一番終りの余興まで見ましたので、お帰りが五時頃になつて終わりました。帰りとき、おそくなつた御通知を頂いてかへりました。

十一月廿日 土 晴

今日午後から旅行のおみやげ話会があるので、凝念の後すぐお掃除を致しました。そして国語室に絵葉書其他おみやげをすっかりならべました。十時半頃から今晚の英語会の唱歌の練習がございました。おみやげ話会に食堂をつかうのでお食事は作業室でございました。午後一時から胸をどきつかせながら会をひらきました。お母様方も十人程いらつしやいました。

第一日目 二日目 東京出発蟹江泊 伊勢二見鳥羽まで 井上

第三日目 鳥羽より奈良まで

第四日目 奈良より西ノ京吉野まで

第五日目 吉野より宇治まで

第六日目 宇治より桃山京都東山まで

第七日目 京都より叡山まで

第八日目 叡山より高尾まで

第九日目 高尾より京都まで

第十日目 京都より男山大阪住吉まで

第十一日目 住吉滞在

第十二日目 住吉より神戸須磨まで

第十三日目 十四日目 須磨より明石舞子神戸より帰京

会は四時半頃すみしました。五時少しすきに中学の方に参りました。

英語会はきちんと五時半から始まりました。女学校はピアノの方と対話の方をのけた外は皆コースがすむとすくかへりました。

十一月廿二日 月 晴

今日は四年生は先月廿九日以来始めての授業でございました。おひるのお食事の後、中村先生が土曜日の旅行のおみやげ話についてのお話がございました。午後から四年だけ順子先生と川上先生と宮岡先生と千代子先生に児童衛生展覧会につれて行つていたゞきました。今日が最後の日なので大変こみました。色々ためになつたことも沢山ございました。かへりが大分おそくなりました。

十一月廿四日 (火) 雨後晴

凝念の時は雨が降つて居たので、まつくらで御座いましたけれども、お昼前のうちすつかり晴れて気持ちよい日になりました。久子先生は今日お休みにになりました。どうなさつたのか気がゝりになります。

お昼御飯の後で中村先生よりおはなしが御座いました。それからド
イツで出来た一枚の糸に幾つも線があつて、それを赤と青のめがねで
見るとちゃんと遠近の区別がついて実物の様に見える珍らしいものを
図書室においていつて下さいました。かへりの唱歌の後で奥田先生よ
り、これから毎日自彊術と唱歌を手早くすまして四時まへに帰る事も
出来る様に、それでわづかの時間を上手に使ふ工夫の練習をすると云
ふおはなしが御座いました。

十一月廿五日 (木) 晴

一昨日から階段廊下の壁に張られて居た四年生の旅行のしやしんは
今日取り去られました。

秋も暮れてゆきます。毎日のお掃除の度に山の様に落葉がごみため
に投げられます。はいてもく後からく散つて来ます。ほんとにお
そうじの時は早く散つてしまへばいゝといふ心が一寸出ます。でも
きれいにはき取った後にばらくと落ちて居るのも風情があつてよろ
しうございます。

今日はおことの日なので唱歌はなく、自彊術だけしておかへりにな
りました。久子先生は今日もお休みにになりました。

十一月廿六日 金 くもり

だんく〜とさむい風が吹いて参りました。今日は大沼先生も垣内先
生もお休みでした。

午後から二年の方は博物館においでになった。今日の自彊術は少し
しかいらつしやいませんでした。日が暮れるのが早くまりました。さざ
ん花がポツポツ咲きそめました。木枯のふくのも近いうちで御座居ま
せう。

十一月廿七日 土 晴

咲きほこつていたコスモスも今はもうすつかり枯れて、校内の雨道
も少しさびしくなりましたけれども、背の低いお茶が白い可愛らしい
花を咲かせて居ります。

四年生は朝から午後の一時間まで看護学がありました。二時間目か
ら三年生と合併、身体に付いてのお話が御座居ました。これから一月
一度二時間だけ、三年生合併の近藤先生のお話があるやうになりまし
た。

昼は一年生の中村さんからいたゞいた、ニコリスクからおくられた、
鮭の御馳走でした。帰へりに来週の月曜までに図画のお手本を持って
来るやうにとのお話がありました。

十一月廿九日 月 晴

今朝はだいぶ寒う御座いました。畑には霜が下りて居りました。食
後奥田先生のお話がございました。それはきちんとした時間で勉強を
したいから、学校の時計がおくれているたら先生に申つたへて下さいと
のお話でした。帰へりの唱歌は雪のうたでした。

十一月三十日 火

もう十一月も終りになった。今朝は大分寒さがつよかった。凝念の
後で、明日からの単衣凝念の事、八日の成道会、二十日のおもちつき、
断食等の事についておはなしがあつた。

おひるのおやすみ時間などにはさむいのでセンターポール、人とり
などがさかに行はれてゐた。

かへりは唱歌はなく、すぐに家路についた。

十二月一日 水 晴

霜は真白におり、単衣凝念にはほんとうにはりあひのあるいゝ日で

した。自彊術だけ単衣で、凝念はどちらでもよい事になつてをりましたが、大ていの方は単衣でなさいました。

凝念法の後で、奥田先生からお話がありました。ほんとうに単衣物を普通の着物と着かへる時は嬉しうございます。

一時間目に、一年から四年まで、今年になつて読んだ本の名、読んだうちでもしろかつた本、よんだ雑誌の名など、いつはりなく書いて出した。

お食後、奥田先生から今年の勅題に就いておはながありました。中村先生がお話して下さる筈でしたが、御用の為お見えにならなかつたので代りに話して下さいました。一時頃中村先生がお見えになり、お話しして下さいました。

勅題は、「社頭暁」といふので、毎年は一月十日頃でしたが今年は十二月十五日までなので、おそくても十日までには出して下されば手を入れてあげますからおっしゃつた。

唱歌の後で、今日から毎日、体操のお稽古をする事になりました。久しぶりなので、またくしてしまひました。はじめてなので、あまり機敏にも出来ませんでした。少し稽古すれば、きつと、機敏に出来る様になる事でせう。先生は順子先生で、外の先生方も姿勢などなほして下さいました。

十二月二日 木 晴

霜は昨日よりも一増ひどくおりました。参観の方が一人お見えになりました。おひる御飯はお赤飯で、これは、大原さんのお父様がなごらく御病氣だったのが御全快遊ばしたその御祝にいたゞいたものであります。佐伯さんのお母様がおみえになつて四年生はお目にかゝりました。今日は唱歌はなく体操だけでした。雨がポツ／＼して居りまし

たので今日も作業室で致しました。お琴の時は久しぶりで落合先生がお見えになりました。今学級書いた図画を明日までに出すやうにと掲示板に書かれました。

十二月三日 金

垣内先生はお休みでした。学校のお掃除があんまりきれいでないので、今日は丁寧に致しました。先生方がお手つだひ下さつて私共はほんとおそれ入りました。お掃除道具がそろつて居ないのも学校の中がきれいでないのも皆四年の私共の責任だとおもひました。

唱歌の時に、図画のお手本はこれから一週間毎に変わりあつてどの組かが重にもつていつて、そののこりを外の組の人がもつて行くやうにおはながありました。

それから断食はことしは有志だけで、明日までにかゞつて来ること、お机の中に屑をためぬ事のおはなしもありました。

十二月四日 土 晴

夕降つた雨は名残りなく晴れましたけれども、風が吹いて居りました。単衣凝念の時はあまり寒くも御座いませんでしたけれども、すんでから急に寒くなつた様な気が致しました。

午後から中村先生かいらつしやいました。そして帰りの唱歌の後でお勅題の「社頭暁」を十三日頃までと云ひましたが、今夜と明日と考へて、なるだけ早く出す様にとの御話が御座いました。

今日の体操は順子先生で、歩いて右、左にとゆうの等をいたしました。だん／＼皆が揃ふ様な気が致します。

十二月六日 月 曇

今日は珍らしく少し曇つて居りましたので霜がおりませんでした。だん／＼なれたゞめか凝念の後の三十の声が大きくなつて来た様に思

われました。

かへりの唱歌は先週の雪のうたのつゞきを致しましたが、併せるのはこの次に致しました。今日は体操はございませんでした。そして明日の徹夜会についてのお話が奥田先生からございました。

十二月七日 (火) 雪

八日

みぞれはとうとう雪にかはった。見て居るうちに、どんく積って行つて何時やみさうにもない。単衣物の着がひかあつて嬉しかった。学校のをはる頃にはもう四寸あまりも積って寒い事など忘れてしまつて、元気な私たちはもつと降れくと思つて居た。学校が終つても今日は帰らない。今日は徹夜会である。

五時少し前、講堂で観世先生のお話「鉢の木」を伺つた。外にはまだ雪が降りしきつて一入趣が深かった。夕食をいたゞきしばらく講堂で遊んで居た。それから食堂で幻燈(釈尊の成道なさるまで)があつた。昨年と略々をなじであつたが、新しい書も入つて実に感じも新しくした。時間がなかつたので学園のを見る事が出来ず残念であつた。二十分ばかり火にあたゝまつてから講堂で天野雅彦さんの講演「柳生又十郎」があつた。父に勘当をうけて改心して剣術に心をみがく度でほんとに面白かつた。二くみに分れてじゃんけん戦に興がつてゐるうち十一時もすぎた。雪は闇のなかにもまつ白くかゞやいて寒さがひしくと身にせまつたが、三年生のお心づくしのおしるこにすっかり暖まつてよい心持ちで椅子取りをした。それから又講堂で天下とりで夢中になり、夜のふけて行くのも知らなかつた。二時間あまりもつゞけて居たのだらう。うでとひざが痛くてたまらなかつた。

四時ごろからであつたらう。一同かべをむいて坐り、半眠りして凝

念をした。奥田先生は戒口を持つて後をおまはりになり、居ねむりをして居る人の肩をたゞいて下さつた。それから四年生が、かはりぐにまはつた。

東にむいて観音経をよむ時とかはり変にまはつた。雪はやんで居た。五時半頃食堂に集り、さつま芋のおかゆをいたゞき心力歌をうたつて成道会はめでたく終つた。清い雪もすべてのものをおほつて、ほのぐくと明けそめて来た。清らかな何とも云はれない尊い朝であつたが、せつかくの明の明星を見られなかつたのは如何にも残念であつた。校門を出たのは丁度六時であつた。

十二月九日 (木) 晴

昨日のお天気のために、うつくしかつた雪は大分とけてしまつたけれども、学校の畑の南によつた方はまた真白である。雪とけのためか大へんつめたい、教室に居ると雪のしたゝる音がきこえる。昨日程しげくはないが、もうそろそろ村田先生の所へ詠進歌のお手本をたのみいらつしやる方が出来て来た。二三日のうちは先生も大いそがしでせう。

四年生には、今年はお手本なしで書いて御らんさいとおつしやつた。今日は唱歌はなく体操はあつた。宮岡先生がおしへて下さる事になつた。今日は手を上へのはしたり横へのはしたりするのを教はり、少しは体操をして居る様な気がした。

十二月十日

朝は道がこほつて居るので中々あるきにくい。又帰りは雪どけで又あるきにくい。今朝は中村先生が御いで下さつた。詠進歌も大分今日なほして頂いた。垣内先生はやはり御やすみであつた。

四年は今日雪の中で弓をした。白い雪の中に入つてしまつたのなど

は、さすがのに大分こまった。

今日はやはり昨日の様な体操を教へて頂いた。

拾二月十一日 土 曇

今日は一日へんなお天気であつた。まだ詠進歌のなほしていただかない方は、おひる中村先生のお宅へ持つて行く事になつた。本日の体操はまはり左、まはり右の練習であつた。始はまごついてくるくまわつていた方もあつたが、だんくなれて来ますと皆すつと揃つて来る様になつた。それから月曜日の一時間目に皆詠進歌を書きますから硯と筆の用意をして来るやうにと奥田先生のお話でした。帰へりにお手本をいたゞくので村田先生は大急そがしそうにみうけられた。

雪はいつになつたらすつかり消てしまふでせう。

十二月十三日 月

凝念法がすんでから、講堂にお机をならべて、詠進歌を書きました。清浄な気持で、一心をこめて、みんなお清書いたしました。一時間目と二時間目でみんなすみました。お食事は、食堂を修繕致してをりますので、講堂でいたゞきました。今日は一年生のお割烹で、どうなさつつか、するとんにお味がついてをりませんでした。お塩をいれていたたきました。一年生でなければ出来ない失敗でせう。一年の方もいゝ経験になり、私共だけの時で、まあよろしうございました。

午後学校に保存しておくのを写生に書きました。六時間目頃に中村先生がいらつしやいました。児玉先生もおみえになつたやうでした。帰りの唱歌はお休みでした。体操は一二年の方だけなさいました。三四年は詠進歌を書いて居りましたので致しませんでした。

十二月十四日 火 晴

七日にふつた雪はまた少し残つて居りますけれども、もう大抵とけ

ました。道がわるくて大変です。

お食事は今日も講堂でいたゞきました。此頃おひる休みに作業室で羽根つきをしていらつしやる方が見えて参りました。だんくお正月も近づいてまゐりました。

午後中村先生がお見えになりました。

十二月十五日 水

長刀は今年は今日が一番終りなので四年は短刀を一本教へて頂きました。明日成蹊学園の先生方が五十人許り女学校で御飯をめし上がります。それでそのお料理は三四年が致しました。午後三時間目にお皿、スプーン、フォーク、ナイフ等お道具をそろへました。今度又二打学校でお買ひになつたので、都合四打になりました。

食堂のかべがおちましたので（下の方が）三分の一住木に変わりました。今日ペンキ屋がきてまわりをきれいにぬつてくれました。

十二月十六日 木 晴

今日も又霜がふりまして寒う御座いました。原宿で電車が顛覆したさうで大分お困りになつた方もおありの様でした。

午後から三四年生は今日学園の先生の保□^{アキ}会があるので、その晩餐の西洋料理を作るのにいそがしう御座いました。

四時頃から先生方いらつしやいました。そして半頃からお食事が初まりました。五十三人分なので随いそがしう御座いました。六時半頃終つて皆でお寿司を頂き、おそくなつた御通知を頂いて七時半帰りました。

十二月十七日 金 晴

凝念の後、明日と月曜日のことについてお話がございました。又面白い忘年会か参りました。

今日は一年と三年の方々が昨日の西洋料理の食器をかたつけて下さいました。三四年は垣内先生がお休みなので久しぶりで中村先生のお話をうかゝりました。

此頃又学校の販売部に色々なものを取りよせましたので大部よく売れるので大変うれしくございます。

十二月十八日 (土) 小雨

凝念がすんでから校内の大掃除を致しました。今年中のごみをすっかり掃ってしまひ、清くうつくしく新年をむかへようと一心にしたので、ずるぶんきれいになりました。昼飯がすんでからまだ仕上らない所は午前のつゞき、それから明日忘年会の余興の相談をいたしました。あいにく雨降り、外まはりの掃除の出来なかつたのが残念でございました。図書室で断食会のお通知を頂き、三時半頃ひけました。今日は卒業後の方針についての御相談で、四年生のお母様がお見えになりました。

十二月廿日 (月) 晴

今日は楽しいお餅搗の日です。凝念の後四年から順に割烹室でつきました。一生懸命にふり上げてから下す力は、床もぬける程でした。お重ねをまるめ、今日おひるにいたゞくあんこのと、からみをこしらへました。出来た時はもうお昼になつて居りました。講堂で自分たちの心をこめて搗いたお餅を頂きました。

午後は忘年会の余興会が開かれました。その時は中村先生も今村先生もいらつしやいました。

忘年会次第

食堂にて

一、開会の辞

四年 桜井

二、余興(近眼鏡)

一年 ○組

三、ピアノ 三年 佐川

四、余興(敷ものゝ下のちり)

二年

五、お琴(八段)

三年 牧原、小野

六、合唱(晩鐘)

三年 全体

七、余興(近眼鏡)

一年 ×組

八、仕舞(二人静)

四年 桜井、他 中村二宮後藤

九、余興(冬の或る日)

二年

十、閉会の辞

四年 中村

以上

おもしろおかしく、会は閉ぢられました。それからお楽しみのお知らせを頂きまして、おかへりになりました。明日から三日間は断食会です。うれしふ様な心配なやうな気で、しかし元気よくお集りの事です。

十二月廿一日 火 晴

いよく今日から断食会である。朝七時に起きました。八時ころ一同講堂に集り朝の凝念をしました。観音経を終へてから奥田先生に、昨夜中村先生がわざわざ持ってきて下さつた「禅道俗話」の本をよむで頂きました。一年はお裁縫室、二年三年は講堂、四年は寄宿に別れて、いろいろ自分のしたい事をいたしました。

おひるは行道でした。夜は観音経と心の力をいたしました。

凝念が終つてから一つづつ本を読んで頂きました。

夜の凝念が終つたのは六時ころでした。それからは自由でした。段々おなが妙になつてきたように思ひましたが、まだよはつた方はありません。

十二月廿二日

無事に一日も過ぎて、いよいよ二日目になりました。朝起きるのがなか／＼辛うございました。

凝念の時には中村先生が大きな観音様を重いのにわざ／＼持つていらつしやつて下さいました。凝念後御本をよんで下さいました。おひるには奥田先生が御親類の御婚礼がおありになるのでいらつしやいましたので、順子先生の凝念で川上先生と久子先生が御本をよんで下さいました。夜も中村先生はいらつしやつて下さいました。一、二人少し苦しそうな方がいらつしやいましたが、別におよわりになった方は御座いませんでした。

十二月廿三日 水 晴

三日目となりました。清らかな観音様の前で元氣よく、いよいよ三日目となりました。皆元氣で清らかな凝念座りました。凝念の後、禅道俗話をよんで下さいました。私共はこの本を読んで下さるのが何より楽しみでした。

各室に帰へるともう帰へるお支度で、すいている事など忘れて大きなふとん二枚位平氣で持ち運びしている方がある。

丁度室のみだれている最中、郡視学の方が見えました。十一時頃畑に出て写真を撮りました。それから昼の凝念、行道も昨日に引かへきちんと全身に氣が入りました。俗話もひるで丁度終了しました。奥田先生から三時二十分前になつたら最後の凝念をして、それからお待ちかねのうどんを頂きませうとおつしやつた時には、誰でも心の中がおどりました。三時二十分前になる迄の時間のおそさ、けれども時間は二十分前となりました。中村先生がいらつしやつて最後の観音経をあげて、中村先生から断食は大へん成績のよかつた、うれしいお言葉をいたゞ

きました。三時には食堂でうどんをいたゞきました。千代子先生がいらつしやつてお手伝をして下さいました。メタルも一所にありました。中村先生の断食後の注意、奥田先生の中村先生のお話を忘れぬやうに、来年は太つた身体カラダになつていらつしやいとのお話がございました。お通知を頂き、第八章をして、目出度、三日間の断食を終へて各々に帰りました。

大正十年一月十日 月曜日 晴

二週間あまりのお休みも夢の間に過ぎて、みんな元氣な顔をして登校致しました。

九時十五分頃に中学へ出かけました。そして運動場で五校が集まつて新年の祝賀会を致しました。

式次

一、凝念 二、君が代

三、園長挨拶 四、心力歌第一章

五、萬歳 三唱 以上

中村先生のお話は、今年は大そうのんびりした静かなお正月をむかへたやうな氣がするが、それは外面で内部はなか／＼複雑してゐるから去年以上の意気込みでする様にとの御訓話がありました。

式がすんでから女学校に帰り、校内のお掃除を致しました。お昼まで自由でした。いろいろお休み中のお話はなかなかつきませんでした。二年の方は午後お書初をする為に墨をすつていらつしやいました。お食事の時は中村先生もおみえになりました。昨年つきましたお餅のお雑煮でした。

食後四年生からよせがきを致しました。先生方も皆様お書きになりました。すんでからくじ引であつた方は、中村先生をはじめ七人程

の方は皆快よくして下さいました。佐伯さんの御病気がおなほりになつたお祝に、お内からお菓子をいただきました。それから四年が二年に、三年が一年に、二年が四年に、一年が三年に、何か一つを所望して、それをしていた。先生方にも願ひした。中村先生が剣舞をして下さいました。奥田先生は高等学校の寮歌をうたつて下さった。中村千代子先生が旅行を遊ばしたので、そのおみやげ話をして下さった。外の先生方は合唱をして下さいました。最後に観音経を拝読して帰りました。

書き落しましたが、お正月のはじめに奥田先生のお内でお子様がお産れになつたそうでございます。お正月早々重ねくもおめでたい事でございます。

一月十一日 火曜日 曇

今日からいよいよ第三学期の授業がはじまりました。一日別に変つた事もございませんでした。かへりの体操はありませんでした。

一月十二日 水 晴

凝念の後でおはなしが御座いました。

着物をきかへる時にお話をしないでかへて御覧なさいとおっしゃいました。四月に編入試験がありますけれども、未だしてない学課などもありますから（それを四月までにしなければならぬから）お割烹をする時間を省き、かへりの唱歌、体操もやめて今まで四十分間でしてゐたのを五十分のばす事になりました。そしてお弁当をもつて来ることになりました。右のことはみな来週からする事に定まりました。お休み中であんまりゆつくりし過ぎましたから、これからまた急がしく致しませうとおっしゃいました。

唱歌も体操もなく、お菓子をいただいて帰りました。

一月十三日 木

単衣に着替へるのに不便なためか、改良服をきてゐる人が少くなりました。おやすみで気がゆるんだのか、お休み前よりも欠席の方がふえた様に見うけました。

今日は別に変つたこともありませんでした。帰りの体操は宮岡先生でした。

一月十四日 金

朝の内は白いあられが降つて居りましたが、午後からは雨になりました。講堂の三の間には今までちかび柵においてあつた観音様の（空白）がかゝりました。

午後帰りの唱歌はなく、体操もなく、四時十五分前まで終りの時間をつゞけました。

一月十五日 土 晴

昨日降つた雨は名残なく晴れて朝日の光さえまばゆく見えました。三四年生は近藤先生の授業が御座いました。帰りには中村先生も御見えになりました。

今日で当分の間は学校で御飯を頂く事が出来なくなりました、小学校時代のお弁当生活になります。

御よろこびの方も、おかなしみの方も御有りの様でした。

一月十七日 月 晴

今日からお昼はおべんとうになりました。何だか小学校の頃がしのばれてなつかしい様な気持ちが致しました。その後で村田先生からのお土産のふきの砂糖漬と飴をいただきました。かへりは唱歌も体操もなくなくなりました。此の頃霜だけで道のわるいには閉口いたします。

一月十八日 火 晴

お天気かつゞいても学校の庭はしもどけで随分ひどう御座います。家事室へゆく道は特に困ります。家事室のお玄関は、その為に仕事にならない程きたなくなつてしまひます。

午後の時間が十分のびて随分ゆつくりする様な気が致します。此の頃販売部も早物が多くなつて、戸棚かにぎやかになつて、売上高も可成あるやうでございます。

一月十九日 水 晴

おひるのおへんたうになつてから、すいぶん御飯が早くすむ様になりました。今までいつでもお割烹番だつた三年の方は今度遊へる様になつたので、よろこんでいらつしやいます。かへりに食堂で断食会の時になくなつたお金のことについてお話かございました。それから、これから毎日々かへりには四時までにお荷物を持って食堂に集つて、さよならを云つておわかれすることになりました。

一月二十日 木

今日は大へんにあたゝかで御座いましたので、単衣凝念はさむく御座いませんでした。

久しぶりで雨のふつたのが、午後はよいお天気になつてしまひました。午後は三年がお割烹がなくなつて、四年生が三時間することになりました。久しぶりで日本料理で御座いました。四時にお別れをしてかへりました。

一月廿一日 金 晴

今日も暖かでございます。久しぶりで垣内先生がお見えになりました。断食会の時の写真ができて参りました。今日は初大師様の日なので電車が中々こみました。

一月廿二日 土 晴

今日は一時間だけ授業致しました。

九時四十分頃中学へ出かけました。

十時頃から講堂で五校の生徒が集つて、今村先生のお誕生を祝しました。

今村賛助員誕生祝賀会式次

一、凝念 二、心力哥 第一章

三、園長の祝辞 四、狂言、宗論、かくしだぬき

五、萬歳 三唱 以上

園長先生のお話は、今村先生は今年で丁度四十五歳にられました。それで実は廿三日が御誕生なのですが、明日は日曜ですから一日早めて本日御祝致次第です。それから日本の紀元をおぼえて居てほしい。今の人は西暦ばかり知つて居て、日本の紀元を知らない人が随分ある。此学校の生徒だけでも紀元二千五百八十一年を忘れないでほしい。小学校の一年生でも忘れないやうにとの御訓話がありました。狂言する人が遅かつたので、その間長谷川先生が野口先生と御一所に京都方面に御旅行なすつたお話をして下さいました。

本日の記念に五校の校舎の絵葉書をいただきました。十二時過ぎに解散致しました。

一月廿四日 月

今日からおひるのテーブルが変りました。

帰りの御挨拶をする時に奥田先生からお話ございました。それは目白の道路の工事もだんく進んできた、大丈夫とは思ひますが、もしもの事があるといけないから、気をつける様に。君子は危きに近よらずですから、瀬戸物屋のわきから来る様にしてもよいでせう。との

事でした。

販売部へ新しく、帳面や、らしやのがきましたので、今日などはなかく忙しうございました。

一月廿五日 火

おひるお食事の時久しぶりに中村先生もお見えになり、御一処にいたございました後で、お弁当についての御注意と白米と糠のお話がありまして、白米ばかりたべてゐると脚気になるやうな事があるそうですですから、麦飯半つき等をいただくのもよろしいそうです。そのかはり白米でも糠味噌漬等いただくのもよろしいでせうとの事でした。

近い内に音楽会があるとの事で学園の音楽の先生方かへりに応接間で御相談のやうでした。

此頃は学校内は大へんなしもどけで家事室へ行くのには、びちゃくで困つてしまふます。

一月二十六日 水

今朝は大そう霜柱が深うございました。講堂のお床の間にひさしぶりでお花がいけられました。多分梅でせう。きれいにいけられてありました。今日も中村先生はお見えになつて下さいまして、お食後にはなしをして下さいました。草木も生きものであるから、よくあはれんでやる様に。

子供や女中をつかふ場合も、やさしい思ひやりをもつてつかへば皆よくなつきますけれども、そうでないと、来る女中もくゝみな出てしまひますから、やさしふ思ひやりといふ事はほんとうに大切なことですとの事でした。

もう一つは昨日と同じお話でした。

かへりの挨拶をする時には二三年か競争のやうにして集りまし

た。

一月廿七日 木

この間内あたゝかった時は単衣の自彊術におでになった方が大変多かつた様にみうけられました。又もとのとほりになりました。暖い寒いでおでにならないかたなどないのでせうが、差支えの無い限りきつとでたいものです。今日は赤堀先生はお加減かわるいさうでおやすみで、四年は家事になりました。奥田先生からお話があつてから帰りのさよならの時のあつまり方が大層早く成りました。うれしい事です。

一月廿八日 金 くもり後雨

今日もかなり寒う御座いました。

どこの組でも今日で横写が終りになるので、今日は皆一生懸命に仕上げていらつしやいました。皆様は随分御熱心にお書きになった様で御座います。多い方は廿何枚も御書きになったそうで御座います。

今日も中村先生がいらつしやつて下さいました。此の頃は毎日の様にいらつしやつて下さるので嬉しう御座います。皆様の御帰りになる頃ポツ／＼降り出しました。今日は弁当の後で久しぶりに心力歌をうたひました。

一月廿九日 土 晴

今日は自彊術にお出になつた方が大変多御座居ました。この頃は凝念かすむと一番さきにお火鉢に行く方が多い様で、お火鉢はなかくよく売れます。四五日前から各室に大ていすみとりが一つづゝ置れました。

今日四年は久しぶりでお会席を致しました。

今年は暖い為か、学校の梅かももう二輪程さきました。したがって春

も早く来るでせう。私共はその春を楽しみに待つて居ります。

一月三十一日 月 晴

販売部は新しい品物が来ると、よく売れます。今日係の方が十円一本売れたのよ等、うれしさうに云つていらつしやいました。宮岡先生の御指導を仰ぐやうになつてから大へん整頓して、きちんくとゆくやうになつた様です。これからも益々よくいつて皆様の御便宜をはかりませう。

二月一日 (火)

新年になつたと喜んで居るうち、もう一ヶ月過ぎてしまひました。単衣凝念も後一月。益々一心に致しませう。

お昼休みの時間に全体で雪の歌を致しました。来月に音楽会があるさうで御座います。

何時も霜どけで困る家事室への道に、むしろがしけて歩きよくなりました。

二月二日 水

朝凝念の時に五日には百八十人位のお客様がおいでになるそうなので一寸すはつて見ました。多分よさそうです。

お昼やすみの間に私達はガラスをふきました。

今日は長刀のお稽古が御座りました。お池の氷は厚う御座いますが、このころは暖かで御座います。

二月三日 木

今日は節分で御座いますので、例年の通り豆まきをいたしました。今まではかへりにいたしましたでしたが、今年はくり上げで、おひるのお食時後にいたしました。

四年の大きい方二人、一年の小さい方二人とが福と鬼になりました。

一番多くおひるひになつた方は五十九で御座いました。

四年生はそれからお料理をいたしましたので五時になりました。おひる前からひらくふつてゐた雪は、かへるころには二寸ほどつもつて居りました。

二月四日 金 曇

昨夜の吹雪で雪の深淺の差があるので、はつきりした深さはわかりません。今朝は自強術をやめて雪かきを致しました。九時頃食堂で暖かい砂糖湯をいたゞき観音経の偈を誦しました。二時間目からお稽古がございました。

帰へりにお通知をいたゞき、二三年は改良服を着てくるやうにとのお話が御座いました。

二月五日 土 晴

凝念法がすんでからすぐ、学校中のお掃除を致しました。お天気がいゝので、雪はどんくくとけます。

みんなが一生懸命で致しましたので、十一時頃までには、どこもどこもみちかへる様にきれいになりました。十一時過ぎに、各級で随意にお弁当をいたゞきました。報知新聞社の婦人講演会の方々は十二時頃からポツ／＼おみえになりまして、みんなで百三十人程お集りになりました。講堂で添田博士と奥田先生のお話があり、すんでから、作業室で三四年の長刀の型と試合をお目にかれました。お仕舞もお目にか、それから食堂でピアノをお耳にいれました。中村先生のお話があり、それで今日の会合はすんだやうでございました。

二月六日

二月七日 月 晴

春が来たとは言へ、今日等は大へんに寒う御座りました。今日奥田

先生がお風邪でお休み、一日校内何となく物足りないやうな気が致しました。

おひるお休み時間には、今度新に仕入れた足袋が販売部で売り出されました。大へんにお値段がおやすいので大分売れました。

午後渡辺先生もお休みでした。かへりの御礼の時に中村先生から皆に「かなのめばえ」を下さいました。

二月八日 火 晴

今日奥田先生はいらっしゃいましたので、何だかにぎやかになつたやうな感じが致しました。お昼のお休み時間に二三四年合併で「雪の歌」を致し、四年の唱歌が終つてから三四四年が「桜」を合せました。午後中村先生がちよつとお見えになりました。

二月九日 水

いつも道のわるいのに、このごろは雪どけで一層ひどうございます。あさはこちくで、でこぼこですし、帰りはぐちやくになります。

帰りに中村先生から、かなのめばえを出したことに一寸おはなしがありません。

二月十日 木 晴

学校に参りますと掲示板に、久子先生御安産にて女兒を御あげになつたとの事（昨日午後一時頃）ほんとに御目出度事だと存じます。

此間の雪がまだ解けません。

帰りのさよならの時、奥田先生から再三言ひますが、あだ名を言はぬ事。明日は中学講堂へ八時十五分前に出かけますと言ふ御話が御座いました。皆明日の余興を楽しみに帰りました。

二月十一日 金 曇後曇後雨

今日はお目出度い紀元節です。私達日本人はクリスマスをお祝ひす

るよりも、なほ一層今日この紀元節をお祝ひ致さなければなりません。それで今日は八時から中学の講堂で式がございました。

式次

一、凝念 心力歌第八章

一、君が代 二唱

一、園長訓話

一、紀元節祝歌

一、余興

大神楽

手品

曲芸

一、萬歳

中村先生のお話は、私達は日本人でほんとうに幸であつたと云ふことと、二千五百八十一年間の立派な歴史をけかさなげに、これからの国民は一生懸命に努力して下さいと云お話をいたしました。余興も皆大変面白うございました。かへりに記念の絵葉書をいたゞいて十時半頃帰途につきました。今朝は曇つて居りましたが、講堂を出る頃には曇にかわり、やかて雨になりました。今日は皆様のお宅でもさぞ盛なお祝がお有りのことと思ひます。

二月十二日（土）雨後曇

今朝降つて居た雪は、昨日の雨でぬかつた道の上につもつて、靴のうへまでもぐつてしまひさうなさわぎ。傘を片手に何時もの倍もかゝつて学校に着きました。下駄箱は泥だらけ。此の頃此度のお当番はほんとにお気の毒です。

今日から学校で白いねずみを三疋飼ひました。一疋は白米、一疋は

半搗米、もう一疋はとがないでよいお米ばかり食べさせて研究に
 入ります。四年生が致します。ほんとにかはいらしくて、何だかはい
 さうな気が致します。

二月十四日 (月) 晴

今日は、この二三日来にめつらしい暖い日でございました。ほんと
 に春らしくなりました。散歩にでも行きたい様なお天気ではありま
 すが、道が相かはらずわくて困ってしまひます。散歩に行つても足も
 とにはかり心配して景色をみるところではないでせう。

南京ねすみも、今日から各々違つたお米をたべさせはじめした。
 二三日のうちには、きつと面白い差が表はれる事です。

二月十五日 火 晴

お昼御飯を頂いてから奥田先生に、今日は涅槃なされた日であると
 云う事を伺ひました。それから涅槃と云うのは、おなくなりになつた
 と云う様に云ひますが、それはなくなる前の時の悟られるに都合がよ
 いからで、そう云う様になつたと云う御話を伺ひました。

帰るころ中村先生がお見えになりました。

二月十六日 水

朝凝念の時、奥田先生がなんでもなくて自彊術に出なかつた人や、
 又心にやましい事のある方は三ノ間に入り、心に正しいと思ふ方は二
 ノ間にお入りなさいとおつしやつた。

そして当分の間凝念、自彊術、観音経の三つの行のうち一つでも
 かゝした人は三の間に入り、完全に行つた人は徹底の間におすはりな
 さいとおつしやつた。

早く皆心かけて徹底の間があふれる様になりませう。それから牧原
 さんの事についてお話があつた。そしてけて人の家のうわさをしな

い事にして、もしもそういふ事をいひふらしたりした人はどんく
 分を致しますとのお話があつた。

おひるごろにはちらく雪がふつてきて大分さむかつた。かへりに
 又着物の事などの事を云はない様につけませう。又そう云ふ事を
 云ふ人は同じ方法をとりませうとおつしやつた。皆一生懸命に気をつ
 けて上品な人になる様に心かけませう。

二月拾七日 木 晴

雨後の時候はほんとうにのんびりした春らしい日でありました。今
 朝は大へん皆よく守つてくださったので、うれしく思ひますとの話
 でした。それから昨日お約束した事を猶忘れぬやうにとくりかへして
 お話をして下さつた。亦自彊術の時奥田先生より後になつたら其方は
 遅刻として三ノ間に坐すこと。自彊術に出られぬ方は柝が鳴つたらば
 すぐ凝念に出ること、そして最初の人は台(観音経を置く台)を自分
 の所へおき、次の方がいらつしやつたら送り、自彊術が終つたらば先
 生の所におくことに定めましたから、皆よく気をつけて二ノ間に入れ
 るやうにと丁度三度お話注意下さつた。それですから皆二三日ではな
 く三月までしつかりと致します。昨日は寒くてぶるぶるふるへてい
 た南京ねすみも、今日は少し暖いので元気です。けれども三匹ともへ
 つてきたので少し心配です。

二月十八日 金

今朝は大そう早く自彊術に出ました。凝念の時、二三日でなく永く
 つゞけて下さいとおつしやつた。

今日は風が強く、昨日にひきかへ大そう寒うございました。

久子先生の所へ、四年生の総代と二年生の総代がお祝を申し上げに
 行きました。お名前は「正子さん」とおつしやるそうです。

二月十九日 土

今朝も大そう皆早く凝念に集る事が出来ました。これもなるべく続かなければなりません。何でも心持ち一つで出来ない事はありません。あんなに多かつた遅刻者も殆んど無くなりました。今日は近藤先生お見えになって、三四年の生理学が御座りました。

一年生の方が御不浄のお掃除を下さったので、大へん見違える程きれいになりました。

明日はいよいよ入学試験で御座ります。此の間女学校が建ったやうに思はれますのに、今度で五度目の試験で御座ります。月日の立つのはまことに早いものです。

二月二十一日 月 晴雪

今朝は凝念の時一人も遅刻者が無いやうで御座りました。これも二三日でなく永くつゞけたいものです。凝念の後で高等女学校になったといふお話を一寸伺ひました。研究科の方はお昼からのぶ子先生と御一緒に西洋料理のお支度をしていらつしやいました。今晚、実務学校の方がいらつしやって西洋料理の食べ方をなさるといふ事でした。雪はほんの少しでやんでしまひました。今日、八文半、九文、九文三分の足袋が参りましたとの事、掲示板に書いて御座いました。

二月廿二日 火

朝の間雪がちらくして居りましたが、いつのまにか日がさして参りました。ほんとにことしはよく雪がふります。

自彊術の時あふれる程一ぱいでうれしう御座います。四年のお仕舞は三月四日の会の時のおさらへでした。

夕方から空模様があやしくなつて参りました。明日は雪でせうか。

二月廿三日 水 晴

夕べうすく積つた雪が朝日にかどやいてきれいで御座いました。凝念の時、先生から明日は新入生の御母様方がいらつしやいますから一年生はお客様ごっこ、二年生三年生は長刀、四年生は御仕舞をする事になりました。それと今日と明日の御掃除は少していねいにして四年生がよく気をつける様にとのお話が御座りました。

二月廿四日 木 晴後雨

今朝は四年のお仕舞をしていらつしやる方四人が、観世先生の舞台へおけいこにお出になつたので、何となく学校かさびしい様な気が致しました。

午後一時から今度の一年におはいりになる方のお母様方がお出になりました。それで一時に講堂に集まつて朝の通りのことを致しました。それから昨日お話があつた順で色々なことをお目にかけました。その間に四年はお菓子をごらへました。今日のはよく焼けた様でございました。そして奥田先生のお話の後、差上げました。かへりには久ぶりで唱歌を致しました。

今朝はよいお天気であつたのに、かへりには雨がかなり降つて参りましたので、傘におこまりになつた方が沢山おありになつた様でございました。

二月廿五日 (金) 晴

凝念の時、この頃は朝自彊術も凝念ともきまりよく集れてうれしい事である。これを何時までも続けて行くやうにとのお話でございます。

図書はみんな一生けん命に表紙の図案にとりかゝつて居ります。来月の十一日までに出す事になりました。垣内先生はおやすみで御座い

ました。

二月廿六日（土） 晴

四年生のお会席は今日が最後でございました。卒業してからも集つてする機会はあるでございませうが、何だか名残をしくて仕方が御座いませんでした。

学校のねずみはどうした事なのでせう。もう十日あまりもたつのに白米を食べて一等へる筈なのが却つて一等元気で目方も重うございませう。何でも実際に自分でして見なければほんのところは分らないもので御座います。

二月廿八日（月） 晴

昨年十二月一日から今日まで、即ち寒いこをはじめてから今日まで、自分が朝のつとめに忠実であつたかどうかを考へて自分で甲乙丙の点をつけて出しました。こんな時に心にかへりみて大いばりで甲が書ける人は一番幸福な人でせう。

二月も今日で終わります。後四年生は二週間すれはかわかれなければなりません。月日のたつゝ早いのは今更ながら驚かされます。

おかへりに三十分程音楽会の唱歌の練習をして頂きました。此度の土曜日は音楽会で御座居ます。

三月一日 火 くもり

朝凝念の時に奥田先生から、明日おひなまつりを午後からいたしますから、四年生が気をきかして世話をする様にと云う事をうかゞひました。

おひる御はんを頂いてから奥田先生から明日おひな様を持つてくる様にとのおはなしを伺う。

歸りに明日は上品なあつさりとした余興をする様にと云う事を伺ひ

ました。

国語室の前の桜が開きました。春雨がさら／＼ふつて居ります。本日に春になつた様な気がいたします。

三月二日 水

今日は学校のおひなさまの会をする事になった。午前中はいつもの通りのおけいこ、四年は三時間目の長刀がなかったので、皆様のもつていらつしやつたおひな様を講堂にかざりました。

会場の食堂もきれいにかざりつけられた。

おひるのおべんとうは各教室でいたゞいた。一時から御招待をした小学校五六年の方々がいらつしやつたので会をはじめました。

合唱、ピアノ、仕舞などもあり、面白い余興などもあつて、それから講堂の方に行き、小学校の方々にくじびきで唱歌などしていただきました。

うれしく閉会したのは三時ごろであつた。小学校の方をお送りして後片づけをして各々家路につきました。

三月三日 木

凝念の時奥田先生から皇太子殿下の今日お立ちになるおはなしがあり、それから殿下の御行路御平安をおいのりをした。今日は三月三日の桃の節句なので、皆家で祝ひの出来る様に半日で午後からおやすみになった。

四年生はお別れのために奥田先生が昨日と今日に分けて茶会に招待をして下さつた。

三月四日 金

なんだかへんに曇つた日でありました。垣内先生の国語はございゐました。おひる頃チラ／＼雪が降つて来たやうでしたが、すぐやんで

しまひました。明日音楽会があるのですが、先生がお休みで練習が出来ないので心ひそかに心配して居りましたが、掲示板に明日午後十二時半から一時半まで唱歌のおけいこがあるといふ事が書いてありましたので安心いたしました。

三月五日 土 晴

凝念法の後で、奥田先生から「潜行密用如魯如愚」といふ事についてお話し下さいました。自彊術も三日で終らず、続いてゐるので、大そう嬉しいとおっしゃいました。

十二時半から音楽会の練習をしていただきました。音楽会は午後二時から始まるので、十五分程前に中学校へ参りました。

今日の音楽会は学園全体で、はじめての試みでした。

スパックマン先生の独唱を伺ふのは多分これが最後でございませう。一堂は水をうつた程、静かになりました。

小学校の可愛らしい合唱や、中学、専門の独唱、女学校の独奏など、何れも、面白く聞きました。

三月七日

月日の立つのはほんとに早う御座ります。四年生のおけいこも、いよく今週ぎりとなりました。又可愛らしい一年生のは入つて来るのも間近くなって参りました。

お昼お食時の時に甲南女学校の武山先生がお見えになりました。そして此処の校に来ると親類の家にも来たやうな気がする等と言って居られました。私共の方からも甲南といへば姉妹のやうにも思はれます。

此頃度々編入試験が行はれるやうです。皆合格し、いよくこの四月から成蹊高等女学校となり、ますます努力なさつて今までのやうな

心懸けで、もつとく世間にほころべき良い学校となることを希望します。

三月八日 火 晴

お昼のお食後奥田先生からお話が御座りました。昨日、海軍法律学校の大尉の方が参観にいらつしやいました。その時みんながぼかんとしておじきをしないうで居りましたので、あゝいふ時にはぼかんとして見えないで、ちよつと会釈をしなければいけません。これからでも学校の内を参観なさつてゐる方はお客様ですから会釈をしなければいけませんとの御注意を下さいました。みんなでよくく気を付けねばなりません。殊に四年生からしてしなければ（一層よく気をつけねばなりません）いけない事です。今日午後（お食事後）ほんとに思ひがけなく澄子さんがお見えになりました。四年生もすつかりそろつてほんとに嬉し。

三月九日 水 晴

今朝は早くいらつしやつた方々が、作業室をはいてをいて下さいました。園部先生はお休みでした。午後三時間目がはじまつて間もなく板がなりました。皆食堂に集りまして、しばらく御病氣でお見えにならなかつた中村先生に御挨拶いたしました。かなのめばえをわけて頂きました。皆の今までにつくつた作文、歌などをまとめて成蹊女学校の記念にとつてをきたいとおもひますから、お清書して出して下さい。桜の咲くころには、おわけすることができたらうとおもひますといふおはなしがありません。

三月十日 木 晴

四年生のスパックマン先生の英語はないので、中村先生がスパックマン先生をお入れして写真を取つて下さいました。

今日も朝から中村先生がいらつしやいました。お食後先生からおはなしが御座いました。今日は奉天の戦に大勝利を得た日で、海軍を強くしなければいけませんとおつしやいました。これからの人は真面目にならなければ世の中は渡れませんかとの事。いろくおはなしが御座いました。

甲南学園の堤先生がいらつしやいました。そしてお茶室で御飯を召上つてお帰りになりました。

専攻科のお教室かだんく出来て参ります。

三月十一日 金 曇

凝念の時に四年生が一等前にならび一、二、三年といふ順に坐りました。考へて見れば今日は四年生として授業をうける最後の一日でありました。図案はみな出来ても出来なくても、先生の方にお出し致しました。

明日は私たちのために送別会をお開き下さるとの事。余興やら何やらの御相談で中々にぎやかで御座います。御丁寧に模擬店をひらくから十一時までに来るやうにとの御招待状まで頂きました。掲示板には昨日写して下さったスバックマン先生との写真が出ておりました。十三日の卒業式の後で音楽会があるさうで、午後三時間目のをはりに三年と合併で「雪」と「桜」をさらひました。

今日はほんとに四年生が皆そろつて同じ教室で授業をする事の出来る最後の名残しい一日でありました。

三月十二日 土 雨

今朝私達丈家事室で奥田先生と作文の事について御相談いたしました。三年以下の方々は私達を祝つて下さるのに朝から大さはぎでかけめぐつていらつしやいます。

十一時ころから模擬店をひらいて下さいました。お心のこもつたおすし、おしるこ、おでんなどはしから頂いてあるきました。本当に美味しく頂きました。一時から食堂でいろく面白い余興を拝見いたしました。それが終んでから在校生のかたぐくから御祝の品を頂き、ここく顔でみな様とお別れいたしました。それから研究科の方々は、けつこうなおかしを作つて頂き、先生方や研究生のかたぐくとごいつしよに、いろくのお話をしながら頂きました。

今日はこんなに皆様から盛大な会を開いて頂きました卒業して参ります。四年生は先生方を始め在校生のかたぐくにふかく感謝いたして居ります。

本当に四年間は早くたつてしまいました

三月拾三日（日） 晴

いよく今日の卒業式の日は来てしまひました。女学校第二回の卒業生は、めてたく證書を頂いて今日卒業致しました。

午前九時より専門学校の講堂で、専門学校、女学校、小学校の三校合併の卒業式が挙行されました。

専門学校

女学校 卒業式次第

小学校

一、凝念

二、君が代合唱

三、證書授与

四、賞品記念品授与

五、報告

六、学園長訓示

七、卒業生総代謝辞

八、心力歌合唱（八章）

九、閉式

音楽会

茶菓

三校合併なので父兄の方々も大勢お見えになりました。君が代を合唱し、證書をいただきました。総代は香取美年子さん、賞品記念品は桜井菊世さんが総代としてお頂きになりました。次に児玉先生の御報告、学園の卒業生の人数。卒業生の次に進むについて、この一年間の学園の出来事でございます。

中村先生のお話は、小学校卒業の方は、小学校の講堂にかゝりてある従順といふことばを、次の中等学校へ上つても忘れない様にまもることで、女学校と専門学校は徹底と自制といふことばをまもりとして女としてこの後他へ嫁してからは、目前の境遇のよいといふことに満足してしまつてはいけません。又、境遇がわるいから、つまらない等思つてはならない。よくても悪くても、その外観のみでよろこんだりつまらなく思つたりしな様に、自分のたちばを深く／＼考へて徹底した考へで、するどい眼でみて、どんなにつまらない境遇になつても、いつもゆたかな気持で居られる様に、そして何年の後もゆつたりした気持で先生方、又自分たち友達同志に対することの出来る様に。地位で立派になるより先づ、心持ちで立派人間になつて下さいといふおはなしでありました。

卒業式が終つて小学校の講堂で音楽がありました。卒業生以外の小学校、女学校の三年の方がいらして下さつて面白く終つた後、卒業生は控室でお茶菓の御馳走になり、よろこびの美顔をもつて各家路につ

きました。

三月十四日 月曜日 晴

朝の凝念の後「今まで私等の上立つて学校のこと、また私等を注意して下された四年の姉君が此度めてたく卒業なされました。すると、いままで姉君かなされていらつしやつたお掃除の場所を新人生のおいになるまでの間三年生が美しく、また早く少くない時間に来る様にその部分／＼をよくわりあてて、一二年の方はよりそれにすなほによく守る様に」との校長先生の御はなしかこさいました。昨日今日、しら玉を綴つた様になつて居た梅の花のあの清い香が静に講堂になかれています。

午後からは卒業生の方おみえになつて割烹室にていろいろお料理あそばしていらつしやりました。さよならは各組にていたして、それ／＼家路にむかひました。

三月十五日 火曜日 晴

二年よりこのかたまで朝のお茶室のお掃除いたしませむてしたが、今日よりまた三年生がお掃除することになつて、うれしさにたへられませんでした。一二年の方も昼のお掃除をいそかしそうに、それからそれとなさつて下さつてるのは、またうれしとおもはずにはいられませむてした。研究生のかたが四月よりおいてになる家も、今日は屋根の瓦をひいておりました。

三月十六日 水曜日 晴

朝からよい御天気ですれしかつた。午前には文法の試験がありましたので一同安心致しました。四年生の方がお出になりませんので、今日はすみさんと家事室のお掃除をいたしました。家事も薙刀も今学期の最後で誠になごり惜しく感じました。

三月十七日 木曜日 晴

午前一時間目は御習字でしたので、講堂でお手習ひをして居りますと、暖かい春日が照つてお茶室の方で鶯がなきますので、春の心地が一層ましてたのしく感じ、又箱根の仙石原を思ひ出しました。スバックマン先生の英会も今日限りで四月頃には英国にお帰へりになりますので私達はとくに御別れの御みおくりをいたしました。をほり

三月十八日 金曜日 晴

お茶室の側に出来る専攻科のお教室もずんぐと工事がはかどつてまゐりました。露路にも春はおとづれて来て居ります。私達も今日の試験がすみましたなら一安心出来、久しぶりて参たふ春を心から味わう事が出来ます。おかへりの時は皆様「今日こそはゆつくりねませう」とおっしゃいなからおかへりになりました。

三月十九日 土曜日 晴

も早、今日明日はお掃除のみで御座居ます。朝のおつとめはぬきにして、すぐ各受持のお掃除をする事になりました。私達は食堂・図書室から家事室・最小生活の方までいたしました。午後は外まわりをし寄宿は寄宿生がいたし、お菓子をいただいてさよならをしました。

三月廿日 日曜日 晴強風

学校が始まるとすぐ昨日の続きのおそうじは行はれました。それでも一二年の方の一心になさつたおかけて思ったよりも早く出来ました。午前十一時で仕事をきり上げ、講堂に集まり凝念をいたしました。後で奥田先生がお休み中は身体を大切にすやう試験の心配はいらぬ事、家事をおてつたいする事、以上の事を御注意下さいました。皆、通知簿をいたゞいてたのしいお休みを向えました。二週間のお休みす

ぎると新しい方をお迎へして、私達は最上級の重荷を負はねばなりません。

皆様定めしおふとりになる事で御座居ませう。

さらばお身体お大切に
今学年 最後の日

原文にできるだけ忠実に記したが、読みやすいように句読点を適当につけ、また漢字は原則として新字体によつた。また、当番の生徒名は、削除した。

家政学部家政学科
二〇〇七・三・三十受付 二〇〇七・五・二八受理